

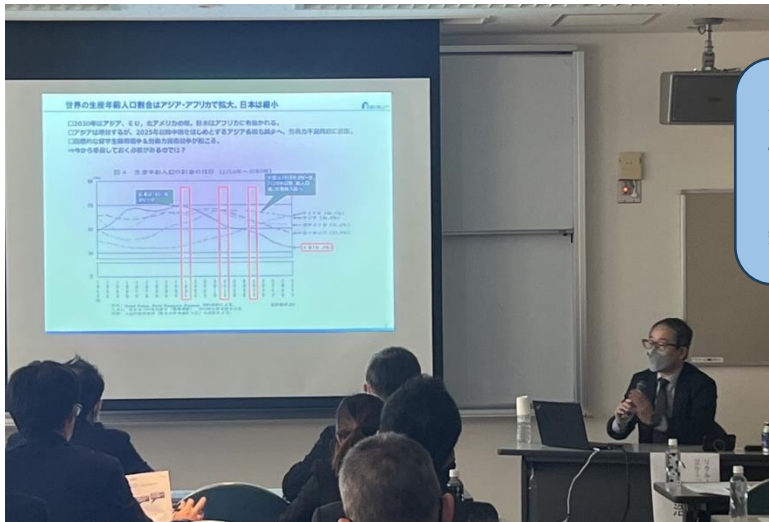
12月8日（金）全体研修会（後期）を開催し、会員校と県内高等学校の教職員の方々が参加しました。

5/26(金)に実施した全体研修会に続き、本年度2回目となる全体研修会（後期）を宇都宮市駒生町の「とちぎ青少年センター」の研修室にて、講師にリクルート進学総研代表並びにリクルート「カレッジマネジメント」編集長の小林 浩（こばやし ひろし）先生をお招きし、「いま求められる社会人基礎力とは～高校生の価値意識の変化をもとに考える～」と題した講演会を実施しました。

会場には、会員校及び県内公私立高等学校の校長先生や進路指導等の教職員 39 名の方々が参加して、小林先生の豊富な経験と最新のアンケート結果に基づく高校生の意識変化などの情報を交えながら、約1時間20分にわたりテンポよく、そしてわかりやすく説明していただき、現場の教職員の先生方には、学生生徒との今後の関わり方に大いに参考になったようです。

コロナ世代と言われ、コミュニケーション不足により周りの空気を読むことはできても、主体的に行動する力が不足していると自覚している若者に対して、心のエンジンをどう駆動させるか。そして、主体的な人生を送るために教職員・学校全体で若者たちに“小さなガッツポーズ“を作れる機会を増やしていきたいと思いました。

栃木県専修学校各種学校連合会
石川理事長（画面左）の開会あいさつ



小林先生の豊富な知識や最新データを織り交ぜ熱意溢れる講義に、参加者も時間の経過も忘れて熱心に聞き入りました。



講演後の質疑応答では参加者から質問にも丁寧にお答えいただきました。

